

第70回

東京都24地区对抗柔道大会

第9回

東京都6地区对抗女子柔道大会

日時：令和7年12月14日（日） 午後1時00分

場所：講道館 新館7階 大道場

主催：公益財団法人東京都柔道連盟

後援：公益財団法人講道館

《 大会次第 》

《 開会式 》

- |           |         |       |
|-----------|---------|-------|
| 1. 開会宣言   | 大会委員長   | 若井 晃  |
| 2. 優勝旗返還  | 板橋区     | 山城 和也 |
| 3. 優勝杯返還  | 第1部 板橋区 | 辰美 直輝 |
|           | 第2部 葛飾区 | 板井 琉成 |
| 4. 大会会長挨拶 | 大会会長    | 鳥海又五郎 |
| 5. 試合上の注意 | 大会審判長   | 川島 一見 |
| 6. 選手宣誓   | 板橋区     | 山城 和也 |

《 試合 》

- |       |                         |
|-------|-------------------------|
| 第1試合場 | 24地区対抗 第2部 / 24地区対抗 第1部 |
| 第2試合場 | 6地区対抗女子                 |
| 第3試合場 | 24地区対抗 第1部              |
| 第4試合場 | 24地区対抗 第2部              |

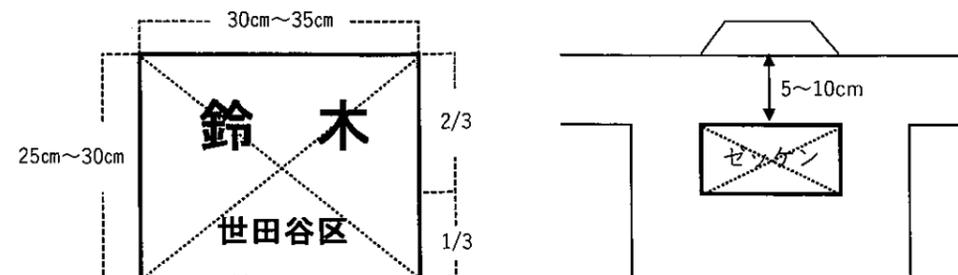
《 閉会式 》

- |           |              |
|-----------|--------------|
| 1. 表彰     |              |
| 2. 寿齢者表彰式 |              |
| 3. 閉会宣言   | 大会副委員長 吉井 利夫 |

第70回 東京都24地区対抗柔道大会 要項

1. 主催 公益財団法人東京都柔道連盟
2. 日時 令和7年12月14日(日) 開会式 13時00分(着替えて12時45分までに大道場に集合)
3. 会場 講道館・新館7階 大道場
4. 参加資格 <選手>
  - (1) 選手は、2025年度の全柔連登録が有効である者とする。
  - (2) 選手は、講道館段位取得者で、社会人及び大学生・各種中学校生・高専4・5年生は四段以下、高校生は、有段者のみ出場可とし、1チーム2名までとする。
  - (3) 選手は、出場する地区に登録している団体に所属する者を原則とする。  
但し、以下に該当する者も出場を認める。  
・警視庁柔道会・東京実業柔道連盟・東京学生柔道連盟・東京都高体連柔道専門部・東京都中学校体育柔道競技部の所属者で②または③を満たす者 (①は欠番)  
(1チーム2名まで) ※登録区分は問わない(役員・社会人・大学生とも可)  
・東京都高体連柔道専門部の所属の高校生で②または③を満たす者(1チーム2名まで) (①は欠番)  
② 出場地区に在住・在勤・在学している  
③ 出場地区の道場・クラブに2015年度以降在籍し登録していたことがある
  - (4) 但し、全柔連強化選手(ジュニア・カデを含む)に指定されていた者(当年度含め過去5年)、また、講道館杯、選抜体重別、全日本選手権の出場経験者は出場不可とする。
  - (5) 選手は、上記(1)～(4)を満たし各地区柔道会の承認を得た者。
 <監督>
  - (1) 全柔連公認指導者資格C指導員以上で資格が有効である者
 ※選手・監督とも、参加資格等に不正のあった場合は、当該地区を失格とし以後の試合の出場は認めない。
5. チーム編成
  - (1) 上記参加資格を満たす5名によるチーム編成とする(高校生は1チーム2名まで)。
  - (2) 以下の団体より登録している者については、次のようにメンバー構成に上限を設ける。  
・警視庁柔道会・東京実業柔道連盟・東京学生柔道連盟の所属者～2名まで  
・東京都高体連柔道専門部の所属者～2名まで
  - (3) 選手は、先鋒より段位順に配列し同段位の場合は体重順とする。  
但し、高校生は先鋒・次鋒のみの配置とし、体重順に配列する。
6. 試合方法
  - (1) 第1部は8チームによるA・Bリーグ戦(4チーム×2)及びA・Bリーグ1位のチームによる決勝戦を行う。A・Bリーグで2位のチームが第3位となる。
  - (2) 第2部は16チームによるトーナメント戦とする。
  - (3) 組合せは、抽選により決定する。但し、前年度の第1部優勝チーム及び準優勝チームはそれぞれ異なるブロックに振り分ける。
  - (4) チームの勝敗は次の順で決定する。
    - 1 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
    - 2 1で同等の場合は「一本勝ち」の多いチームを勝ちとする。
    - 3 2で同等の場合は「技あり優勢勝ち」の多いチームを勝ちとする。
    - 4 3で同等の場合は「有効優勢勝ち」の多いチームを勝ちとする。
    - 5 4で同等の場合、第1部予選においては「引き分け」とし、第1部決勝戦及び第2部においては引き分けの対戦(複数の場合は抽選により1対戦)を代表戦とし、4分間の本戦を行い僅少差をもって勝敗を決する。
  - (5) リーグ戦における順位は次の順で決定する。
    - 1 勝敗数で同等の場合は、リーグ戦を通じて(3以下同様)勝者総数の多いチームを上位とする。
    - 2 1で同等の場合は、「一本勝ち」による勝者総数の多いチームを上位とする。
    - 3 2で同等の場合は、「技あり優勢勝ち」による勝者総数の多いチームを勝ちとする。
    - 4 3で同等の場合は、「有効優勢勝ち」による勝者総数の多いチームを勝ちとする。
    - 5 4で同等の場合は、敗者総数の少ないチームを上位とする。
    - 6 5で同等の場合は、「一本」による敗者総数の少ないチームを上位とする。
    - 7 6で同等の場合は、「技有」による敗者総数の少ないチームを上位とする。
    - 8 7で同等の場合は、「有効」による敗者総数の少ないチームを上位とする。
    - 9 8で同等の場合は、抽選によって順位を決定する。

- (6) 今年度の試合成績により第1部、第2部の入れ替えを行う。
  - 1 第1部の下位2チーム(Aブロックの4位とBブロックの4位)は次年度第2部に入れ替わる。
  - 2 第2部の上位2チーム(優勝、準優勝チーム)は、次年度、第1部に入れ替わる。
7. 審判規定
  - (1) 最新の国際柔道連盟試合審判規定で行う。
  - (2) 試合時間は、4分間とする。
  - (3) 勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「有効」「僅差」※とし、得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。  
※「僅差」とは、指導の差2をいう。  
但し、代表戦は4分間の本戦を行い僅少差をもって勝敗を決する。
  - (4) 審判員は、東京都柔道連盟が委嘱した者による。
8. 表彰
  - (1) 第1部、第2部の優勝・準優勝・3位(2チーム)の8チームを表彰する。
  - (2) 前年度優勝チームに、レブリカを授与する。
9. 申込方法
  - (1) 申込締切 令和7年11月21日(金) 23:59
  - (2) 申込方法 所定の申込用紙に必要事項を記入のうえ、下記メール宛に添付し申込むこと。  
申込みアドレス: moshikomi@tojuren.or.jp  
\* 申込書はPDF等にせず、Excelデータのまま送付のこと。  
入力された情報はプログラムや大会運営・広報に至るまで共通して使用する。  
間違いの無いよう送信前に必ず確認のこと。  
\* 各項目に明記している全角・半角・スペース入・/入などに従って入力してください。
  - (3) 参加費 1チーム 20,000円 ※ 申込締切(11/21)までに振込をすること  
※三菱UFJ銀行 春日町支店 普通口座 1060735 公益財団法人東京都柔道連盟  
※領収書を必要とされる場合は申込書の領収書発行希望に✓してください。
  - (4) 申込に関する問い合わせ先 東京都柔道連盟  
メール: moshikomi@tojuren.or.jp / TEL: 03-3818-5639
10. 組合せ 令和7年11月28日(金)頃 東京都柔道連盟事務局にて実施予定
11. 受付 監督・選手は、大会当日12時30分までに各自、新館4階にて受付を行うこと。  
受付を行わなかった場合は、欠場扱いになるので、注意すること。
12. 選手変更 令和7年12月11日(木) 23:59までに選手変更届をFAX又は申込アドレスまで提出すること。  
以後は欠場扱いとなりチーム編成は欠場選手の階級が穴あきとなる。
13. 保険
  - (1) 主催者が参加者全員に対して傷害保険の加入手続きを行い、その費用を負担する。  
尚、万一の事故発生に備え、各所属で別途傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策をたてておくこと。
  - (2) 大会中の負傷・疾病については応急処置を施すとともに、傷害保険の範囲内で責任を負うものとする。
  - (3) 大会当日、参加者は健康保険証を必ず持参すること。
14. ゼッケン  
柔道衣 出場選手は着用する柔道衣に規定の大きさのゼッケンを正しく縫い付けること。  
ゼッケンを付けていない選手は出場出来ない。
  - (1) 所属名は出場地区名とする。
  - (2) サイズは概ね横30cm～35cm、縦25cm～30cm。
  - (3) 布地は白色(晒・太綾)とし、書体は太いゴシック体または明朝体(楷書)で横書き、黒文字。
  - (4) 縫い付けの位置は、後ろ襟から5cm～10cm下部とし周囲と対角線に強い糸で縫いつける。
  - (5) 苗字(姓)は上側2/3、出場するチーム名は下側1/3を目処とする。
  - (6) 柔道衣は白色のみとする。インナーの着用は認めない。



15. 各種対応 (1) 脳震盪について

- ① 大会前1カ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の治療を受け出場の許可を得ること。
- ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。  
(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
- ③ 練習の再開に関しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- ④ 当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(2) 皮膚真菌症(トンスランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は大会への出場ができない場合もある。

16. その他 (1) 個人情報、肖像権の取り扱いについて

下記項目について、申込書の提出をもって了承されたものとし取扱う。

申込時に入力した個人情報・競技結果・大会中に撮影された写真または動画等の映像が、大会プログラム・競技会場内外の掲示板等・大会ホームページ・都柔連Facebookに掲載される場合がある。また、その他報道機関等により新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合がある。

大会時に撮影する映像を、審判員および指導者の技能向上のための研修会資料として使用する場合がある。

(2) 監督は、審判員に準じた服装とする。

※男性：スーツにネクタイ着用(審判員ネクタイ不可) 女性：スーツ着用

(3) 身体を冷やさなため防寒着や靴下の会場への持ち込みは可とする。

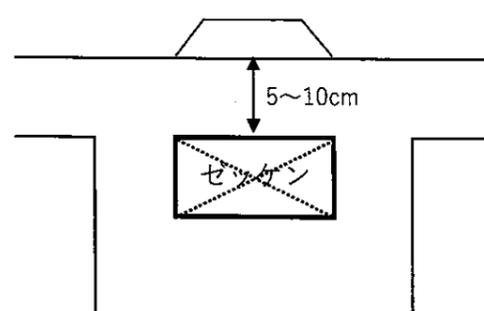
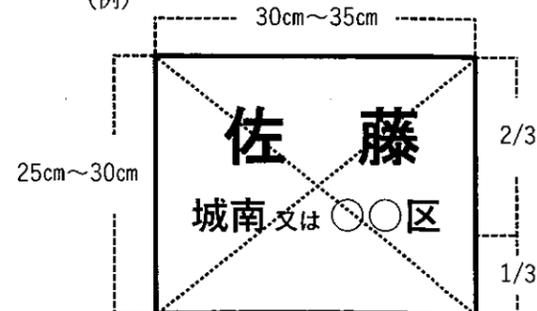
第9回 東京都6地区対抗女子柔道大会 要項

1. 主催 公益財団法人東京都柔道連盟
2. 日時 令和7年12月14日(日) 開会式 13時00分(着替えて12時45分までに大道場に集合)
3. 会場 講道館 新館7階 大道場
4. 参加資格 (1) 東京都柔道連盟を通して、全日本柔道連盟に登録をしている者。  
(2) 当年度および前年度に全国レベル以上の大会に出場している者は除く。  
(3) 選手は選抜地区の承認を得た者に限る。  
(4) 監督は全柔連公認指導者資格C指導員以上で資格が有効であること。
5. チーム編成 (1) 6地区とは、東京都の中央、墨東(城東)、城西、城南、城北、三多摩地区をいう。  
(2) 選手は先鋒、中堅、大将、3人制の団体戦とする。  
先鋒は、当該年度当初の年齢が16歳以上  
中堅は、当該年度当初の年齢が25歳以上  
大将は、当該年度当初の年齢が25歳以上
6. 試合方法 (1) 出場チームを2分しリーグ戦を行い、リーグ戦1位同士で優勝決定戦を行う。  
(2) 試合順序は抽選により決定する。但し、前年度の優勝チーム及び準優勝チームは異なるブロックに振り分ける。  
(3) チームの勝敗は次の順で決定する。
  - 1 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
  - 2 1で同等の場合は「一本勝ち」の多いチームを勝者とする。
  - 3 2で同等の場合は「技あり優勢勝ち」の多いチームを勝者とする。
  - 4 3で同等の場合は「有効優勢勝ち」の多いチームを勝者とする。
  - 5 4で同等の場合、リーグ戦は「引き分け」とし、優勝決定戦は3分間の本戦を行い、僅少差をもって勝敗を決する。  
(4) リーグ戦における順位は次の順で決定する。
  - 1 勝敗数で同等の場合は、リーグ戦を通じて(3以下同様)勝者総数の多いチームを上位とする。
  - 2 1で同等の場合は、「一本勝ち」による勝者総数の多いチームを上位とする。
  - 3 2で同等の場合は、「技あり優勢勝ち」による勝者総数の多いチームを勝ちとする。
  - 4 3で同等の場合は、「有効優勢勝ち」による勝者総数の多いチームを勝ちとする。
  - 5 4で同等の場合は、敗者総数の少ないチームを上位とする。
  - 6 5で同等の場合は、「一本」による敗者総数の少ないチームを上位とする。
  - 7 6で同等の場合は、「技あり」による敗者総数の少ないチームを上位とする。
  - 8 7で同等の場合は、抽選によって順位を決定する。
7. 審判規定 (1) 最新の国際柔道連盟試合審判規定で行う。  
(2) 試合時間は、3分間とする。  
(3) 勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「有効」「僅差」※とし、得点差が無く、かつ「指導」差が1以上の場合は「引き分け」とする。  
※「僅差」とは、指導の差2をいう。  
但し、代表戦は、3分間の本戦を行い、僅少差をもって勝敗を決する。  
(4) 審判員は、東京都柔道連盟が委嘱した者による。

8. 表彰 (1) 優勝・準優勝の2チームを表彰する。
9. 申込方法 (1) 申込締切 令和7年11月21日(金) 23:59  
 (2) 申込方法 所定の申込用紙に必要事項を記入のうえ、下記メール宛に添付し申込むこと。  
 申込みアドレス：moshikomi@tojuren.or.jp  
 \* 申込書はPDF等にせず、Excelデータのまま送付のこと。  
 入力された情報はプログラムや大会運営・広報に至るまで共通して使用する。  
 間違いの無いよう送信前に必ず確認のこと。  
 \* 各項目に明記している全角・半角・スペース入・/入などに従って入力してください。
- (3) 参加費 無料
- (4) 申込に関する問い合わせ先 東京都柔道連盟  
 メール：moshikomi@tojuren.or.jp / TEL：03-3818-5639
10. 組み合わせ 令和7年11月28日(金)頃 東京都柔道連盟事務局にて実施予定
11. 受付 監督・選手は、大会当日12時30分までに各自、新館4階にて受付を行うこと。  
 受付を行わなかった場合は、欠場扱いになるので、注意すること。
12. 選手変更 令和7年12月11(木) 23:59までに選手変更届をFAX又は申込アドレスまで提出すること。  
 以後は欠場扱いとなりチーム編成は欠場選手の階級が穴あきとなる。
13. 保険 (1) 主催者が参加者全員に対して傷害保険の加入手続きを行い、その費用を負担する。  
 尚、万一の事故発生に備え、各所属で別途傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を  
 たておくこと。  
 (2) 大会中の不慮の負傷・疾病については応急処置を施すとともに、傷害保険の範囲内で責任を  
 負うものとする。  
 (3) 大会当日、参加者は健康保険証を必ず持参すること。
14. ゼッケン ゼッケンを付けていない選手は出場出来ない。

- 柔道衣 (1) 所属名は出場地区名または区市名(〇〇区)とする。  
 (2) サイズは概ね横30cm~35cm、縦25cm~30cm。  
 (3) 布地は白色(晒・太綾)とし、書体は太いゴシック体または明朝体(楷書)で横書き、赤文字。  
 (4) 縫い付けの位置は、後ろ襟から5cm~10cm下部とし周囲と対角線に強い糸で縫いつける。  
 (5) 苗字(姓)は上側2/3、出場するチーム名は下側1/3を目処とする。  
 (6) 柔道衣及びインナーは白色のみとする。

(例)



15. 各種対応 (1) 脳震盪について  
 ① 大会前1カ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の治療を受け出場の許可を得ること。  
 ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。  
 (なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)  
 ③ 練習の再開に関しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。  
 ④ 当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (2) 皮膚真菌症(トンスランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は大会への出場ができない場合もある。
16. その他 (1) 個人情報、肖像権の取り扱いについて  
 下記項目について、申込書の提出をもって了承されたものとし取扱う。  
 参加申込書に記載された個人情報・競技結果・大会中に撮影された写真または動画等の映像が、大会プログラム・競技会場内外の掲示板等・大会ホームページ・都柔連Facebookに掲載される場合がある。また、その他報道機関等により新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合がある。  
 大会時に撮影する映像を、審判員および指導者の技能向上のための研修会資料として使用する場合がある。
- (2) 監督は、審判員に準じた服装とする。  
 ※男性：スーツにネクタイ着用(審判員ネクタイ不可) 女性：スーツ着用
- (3) 身体を冷やさないため防寒着や靴下の会場への持ち込みは可とする。

大会役員

大会名誉顧問 上村 春樹 冲永 佳史

大会会長 鳥海又五郎

大会副会長 小山 泰文 川嶋 直司

大会顧問 梅津 勝子 吉澤 清 落合 俊保 一戸 隆男  
 大輪 小次 貝瀬 輝夫 小林 次雄 高木 志行  
 都築 茂 長澤 亨 野村 喜好 橋本 昇  
 長谷川育男 長谷川 實 原島 久武 福島美智男  
 保科 素 松村 智顕 吉村 和郎 天野 修  
 池内 雅胤 神田 眞虎 小嶋 啓道 白鳥 義輝  
 関 武夫 野口 泰三 花岡 重喜 森田 光二  
 矢田 栄一 秋元 利幸 押田 鶴明 櫻井 康司  
 工藤 鉄男 橋本 憲典 福井 鉦之輔 伊藤 述史  
 河野 暎子 浅野 哲男 別所 道記 佐藤 正  
 若松 節子 宇津木俊博

大会参与 榎 義治 澁田 政盛 渡邊 建一 萩野 元祐  
 牧瀬 敏文 石留 靖之 河野 文彦 山田 保行  
 市島大二郎 山本 洋祐 檜木 豊秀 濱本 敏典  
 芹澤 敏光 中島憲太郎 尻無 清孝 砂田 慶二  
 菊地 雄司 長内 康生 鈴木 伝一 佐藤 勝  
 松戸 鶴男 青木 富雄 園田 雅明 内海 章雄  
 白瀬 英春 瀧澤 一裕 渡辺 軍三 大八木 諭  
 赤澤 良太 前瀧 大吾 岡部 洋興 松井 勲  
 岩淵 公一 道場 良久 永福 栄治 田辺 陽子  
 高橋 健司 川島 一見 浅田 千秋 本田 宗哉

大会委員長 若井 晃  
 大会副委員長 吉井 利夫 西村 義人  
 大会総務 関川喜久美 毛利 修

進行・放送係 ◎ 前田 城治 加藤 泰輔 北川 浩基 小山 凜雄  
 進行補佐 松戸 鶴真 松戸 雅宜  
 記録・表彰状係 ◎ 古谷 政一 安田 貴浩 佐藤 清  
 1 木村 匡聡 2 曾木 憲一 3 佐藤 光男 4 沖津 大悟  
 式典係 ◎ 関口 高史 ○ 松戸 鶴男  
 入場・会場係 ◎ 吉嶋 誠司 ○ 松戸 鶴男 美馬 貴志 木島 大樹  
 佐藤 洋一 葛山 憲司 山森 敦啓 石川 金造  
 佐藤 亘良 八木 道雄 柴田 克雄 廣瀬 雅人  
 大野 均  
 受付・会計係 ◎ 野上 晶一  
 広報係 ◎ 金持 拓身  
 救護医 市毛 繁実  
 救護係 公益社団法人東京都柔道整復師会 和田 雅史 杉村 恭司

試合場係

第一試合場		第二試合場		第三試合場		第四試合場	
①	飯塚 勝也	①	役田 武	①	佐々木優一	①	大森 直樹
2	星野 一陽	2	遠藤匡一朗	2	我妻 陸登	2	小玉溪吾郎
3	築達 秀和	3	住田 治高	3	釜崎 聡太	3	石井 賢利
4	岡田 栄二	4	小池ひかり	4	森 士龍	4	牛尾 康太
5	辻 昂太郎	5	塩谷 尋	5	磯野 笑花	5	小林 雅
6	松澤 和生	6	五十嵐千穂	6	大和地彩花	6	石田 倅千
7	上野 真穂	7	加藤 優鈴	7	窪田 唯織	7	森田 一
8	近藤 希	8	安倍しずく	8	都 彩萌	8	石川 匠

都柔連職員 宮田 健 前橋 治美 小林 真紀

審判員

(No.1 =主任・順不同)

審判長 川島 一見

第1 試合場		第2 試合場		第3 試合場		第4 試合場	
①	岩村 衡	①	福地賢志郎	①	鉄谷 竜三	①	関根 善晴
2	白熊友香里	2	宝田 健	2	伊藤 博哉	2	仁平 正洋
3	前瀧 大吾	3	内海まゆみ	3	田中このみ	3	纈纈 明久
4	針谷 泰介	4	種谷 亮	4	紺野 直能	4	星 國昭
5	内海 秀一	5	田中 泰三	5	織茂 道夫	5	澤口 亮太

試合進行予定表

	第1 試合場	第2 試合場	第3 試合場	第4 試合場
13:00	開 会 式			
	男子第2部 第1～7試合	女子団体戦 第1～10試合	男子第1部 第1～6試合	男子第2部 第1～7試合
	男子第1部 第8～13試合		男子第2部 決勝戦	
	男子第1部 決勝戦			
16:00				
16:10	閉 会 式			
	寿 齢 者 表 彰 式			

※ この進行表は目安であり、進行に変更がある場合は、放送で指示があります。

※ 閉会式での表彰が終了後、寿齢者表彰式を行います。

東京都柔道連盟 ホームページ

<https://www.tojuren.or.jp/index.html>

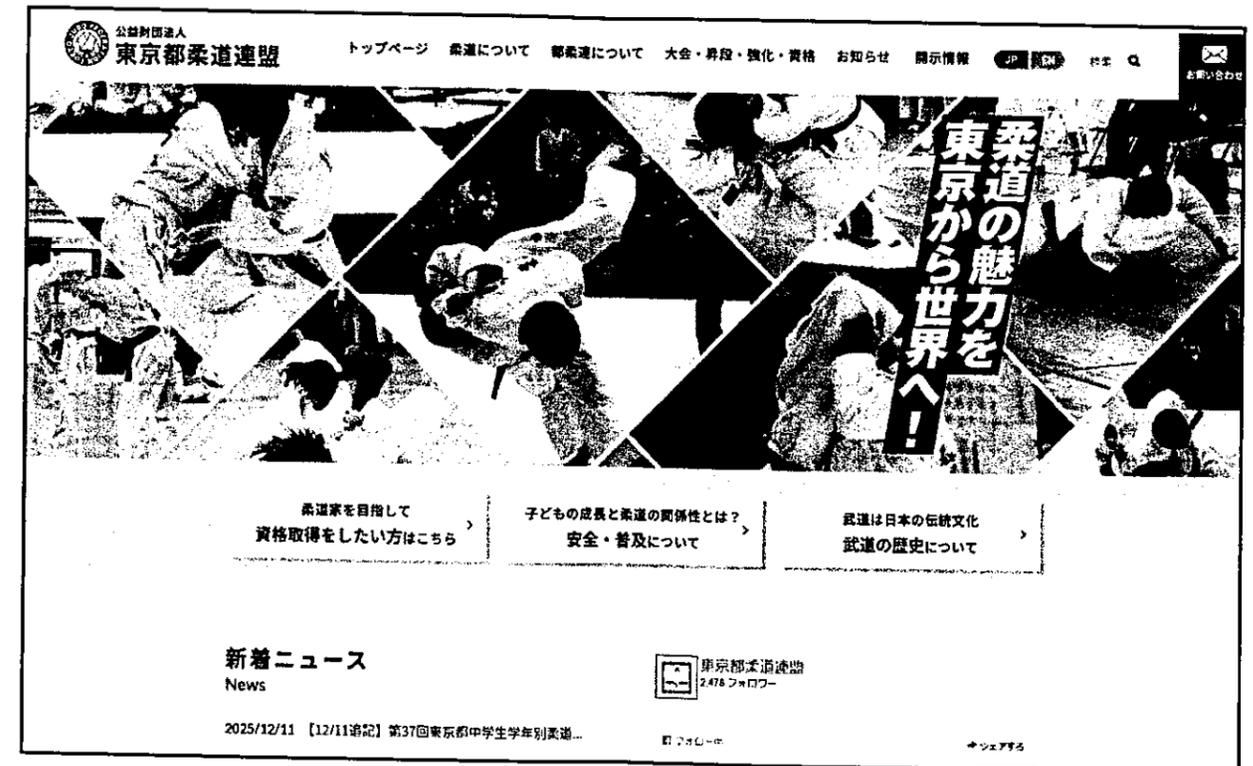


ホームページでは

- ・大会・資格講習会などに関する各種お知らせ事項
- ・昇段推薦書フォーマット・各種申請書類のダウンロード
- ・柔道に関わるお役立ち情報

などを掲載しています。ぜひ、ご活用ください。

また、主要事項のホームページ掲載をメールでお知らせする「メーリングリスト」への登録はこちらからお願いいたします。<https://forms.gle/Y6o4FYjtoNYvDybN9>

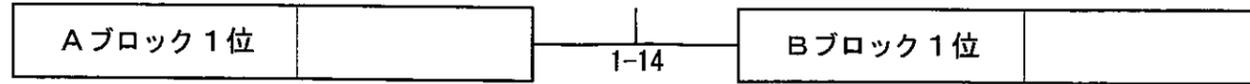


☆道場・クラブ情報の掲載

また、加盟団体・道場・クラブでの催し等案内の掲載を希望される場合は [tojuren@tojuren.or.jp](mailto:tojuren@tojuren.or.jp) までご連絡ください。

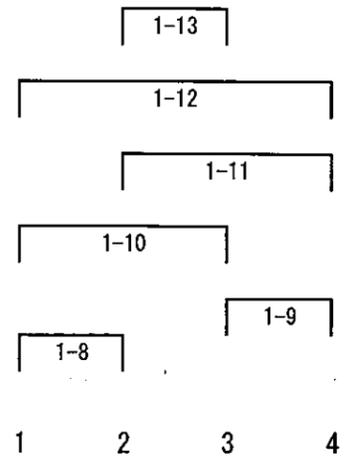
(道場・クラブ情報は加盟団体情報の中に掲載されます)

《予選リーグの結果による決勝トーナメント戦》



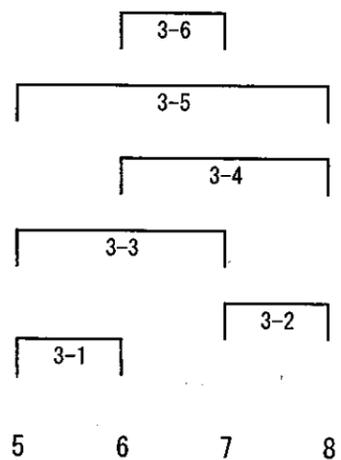
《予選リーグ戦》

Aブロック 第1試合場



1	2	3	4
板橋区	豊島区	足立区	練馬区

Bブロック 第3試合場



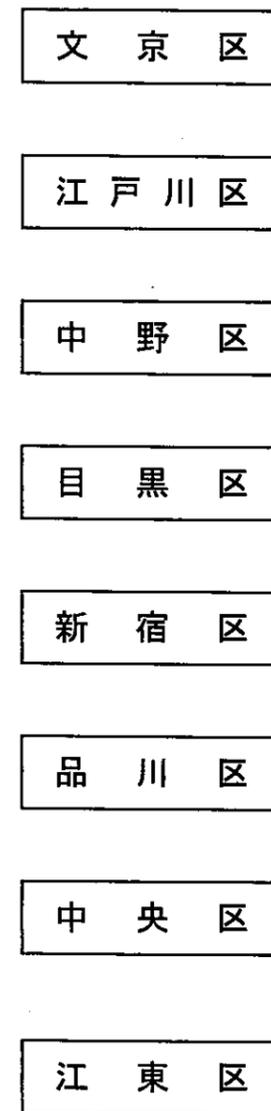
5	6	7	8
大田区	葛飾区	荒川区	北区

	板橋区	豊島区	足立区	練馬区	勝点	順位
板橋区						
豊島区						
足立区						
練馬区						

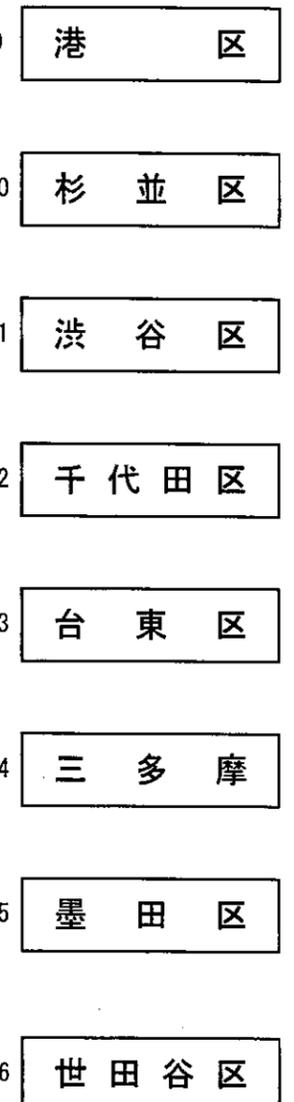
	大田区	葛飾区	荒川区	北区	勝点	順位
大田区						
葛飾区						
荒川区						
北区						

《トーナメント戦》

第1試合場



第4試合場



《記録》

	優勝	準優勝	第3位	
第1部				
第2部				

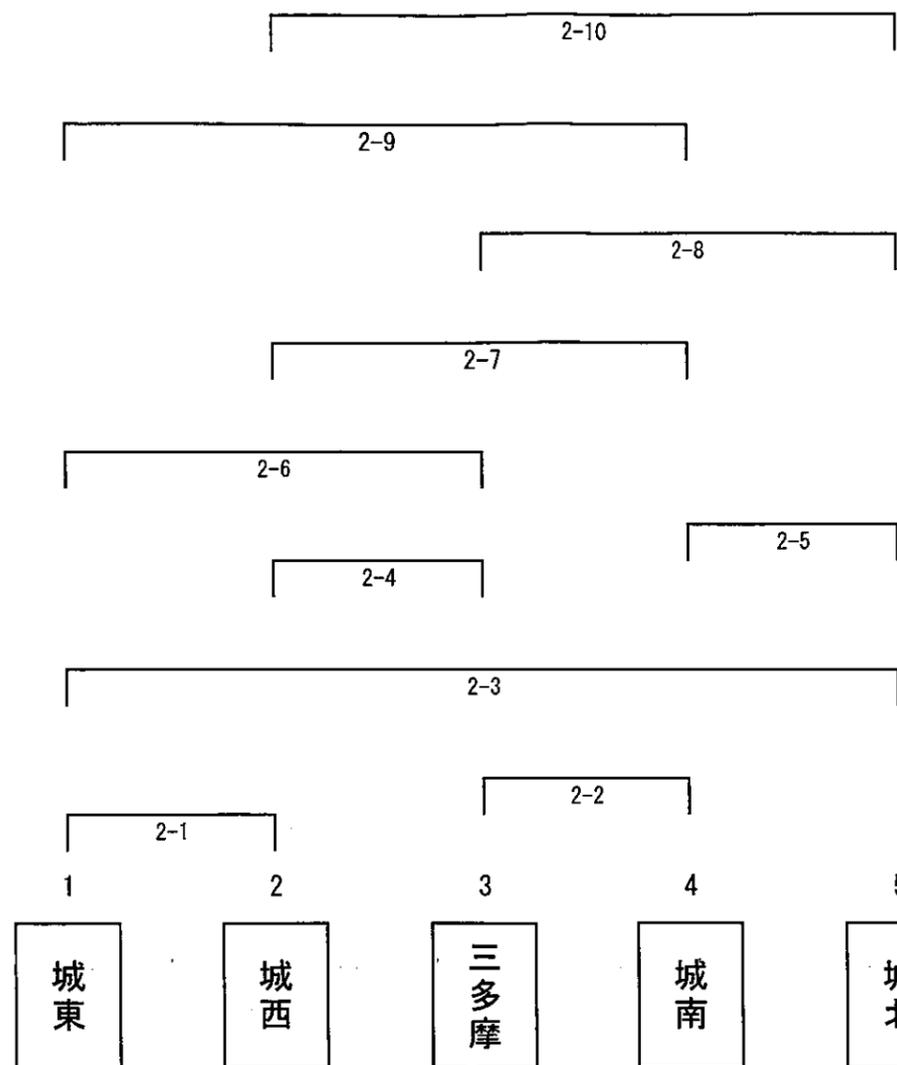
出場者一覧表

地区名	オーダー	段位	氏名
千代田区	監督	五段	谷川 礼
	大将	三段	中田 竣介
	副将	三段	松田優太郎
	中堅	三段	板垣 颯人
	次鋒	二段	江藤 知樹
	先鋒	初段	玉城 大和
中央区	監督	七段	井上 恭夫
	大将	四段	岩崎 靖治
	副将	三段	松川 達也
	中堅	二段	谷口 拓海
	次鋒	二段	斎藤 拓海
	先鋒	初段	勝田琉之介
港区	監督	六段	田端 博之
	大将	三段	嶋田 将也
	副将	二段	水田健志郎
	中堅	二段	小村谷一毅
	次鋒	二段	菅野 隼太
	先鋒	二段	須加 拓麻
新宿区	監督	七段	芦川 知二
	大将	四段	向山 航
	副将	三段	小川 稜人
	中堅	三段	長谷川大翔
	次鋒	二段	山田 幹太
	先鋒	初段	大塚 禎義
文京区	監督	四段	高橋 寛
	大将	三段	関軒 楽生
	副将	二段	由永 健二
	中堅	二段	伊藤 颯
	次鋒	初段	勝田 康貴
	先鋒	初段	飯塚 祐太
台東区	監督	四段	澤 桂司
	大将	三段	吉田 秀道
	副将	二段	熊本 蓮
	中堅	二段	吉田 秀朝
	次鋒	二段	荒川 勇人
	先鋒	初段	會田 大成

地区名	オーダー	段位	氏名
墨田区	監督	五段	中里 浩
	大将	四段	原田 勇輝
	副将	三段	辻村 真志
	中堅	三段	渡部 禄也
	次鋒	二段	富永雄太郎
	先鋒	初段	三浦 佳大
江東区	監督	七段	二宮 唯晃
	大将	三段	吉原 大智
	副将	三段	内堀 紘徳
	中堅	三段	荒井 優輝
	次鋒	二段	渡辺 理恩
	先鋒	初段	安河内善太
品川区	監督	六段	佐藤 陽介
	大将	四段	武智 健太
	副将	三段	本村 光城
	中堅	三段	森岡 祥彬
	次鋒	二段	泉 一翔
	先鋒	初段	小野 優志
目黒区	監督	六段	櫻井 正之
	大将	三段	嶧田遼太郎
	副将	二段	山本 晋吾
	中堅	二段	芳垣 圭祐
	次鋒	初段	櫻井 飛鳥
	先鋒	初段	星 國聖
大田区	監督	四段	中村裕次郎
	大将	三段	菅原 孝希
	副将	二段	林 大翔
	中堅	二段	福島 稜
	次鋒	初段	開澤 大地
	先鋒	初段	リュウ ファンドン
世田谷区	監督	六段	百瀬 晃士
	大将	三段	下村 琉也
	副将	三段	唐木 康大
	中堅	三段	横手 和輝
	次鋒	二段	林 亨音
	先鋒	二段	川端 惇仁

地区名	オーダー	段位	氏名
渋谷区	監督	六段	吉富 孝則
	大将	三段	金崎 森治
	副将	二段	福本 修也
	中堅	二段	泰川 耀
	次鋒	二段	熊田 耕介
	先鋒	初段	板倉 夏輝
	中野区	監督	六段
大将		三段	吉田 優斗
副将		三段	中村 将士
中堅		三段	岩崎 雄也
次鋒		二段	林 壮真
先鋒		初段	五味 蒼空
杉並区		監督	五段
	大将	四段	西岡慎太郎
	副将	三段	高柳 真悟
	中堅	三段	金坂 亘陽
	次鋒	二段	吉田 颯
	先鋒	初段	清野 大樹
	豊島区	監督	三段
大将		三段	長谷川海人
副将		三段	石井 和磨
中堅		三段	赤間 雄介
次鋒		三段	大野 祥啓
先鋒		三段	岩崎 彪
北区		監督	七段
	大将	三段	高橋昇之助
	副将	二段	古谷野和志
	中堅	二段	堂脇 隼人
	次鋒	二段	菅沼 芯太
	先鋒	初段	安田 蒼太
	板橋区	監督	七段
大将		三段	山城 和也
副将		三段	辰美 直輝
中堅		二段	中村 成寿
次鋒		二段	須藤 華粋
先鋒		初段	發師 建翔

地区名	オーダー	段位	氏名
荒川区	監督	四段	新井 教友
	大将	三段	濱田 善太
	副将	三段	小林 熙海
	中堅	三段	石塚 隼他
	次鋒	二段	渡邊 天
	先鋒	二段	西村 緑
	練馬区	監督	五段
大将		四段	長谷川明伸
副将		二段	宮下 智博
中堅		二段	小林 知寛
次鋒		二段	木村 信
先鋒		初段	星野 喜洋
足立区		監督	五段
	大将	三段	増山 陽太
	副将	三段	小磯 匠海
	中堅	二段	永川 昂
	次鋒	初段	廿日岩瑛太
	先鋒	初段	市井 天慳
	葛飾区	監督	七段
大将		三段	川越 至
副将		三段	毛利 允弥
中堅		三段	板井 琉成
次鋒		初段	斉藤 翔成
先鋒		初段	大熊 布武
江戸川区		監督	四段
	大将	三段	宮崎 楓梧
	副将	二段	秦 七伎
	中堅	初段	関 二郎
	次鋒	初段	神谷 陽色
	先鋒	初段	原 壮太
	三多摩	監督	七段
大将		三段	阿部 竜弥
副将		三段	小黒澤孝介
中堅		三段	益井 光心
次鋒		二段	齋城 龍世
先鋒		初段	成田悠ノ介



	城東	城西	三多摩	城南	城北	勝点	順位
城東							
城西							
三多摩							
城南							
城北							

出場者一覧表

《中央地区》(四区)

千代田区柔道会 中央区柔道会  
文京区柔道会 台東区柔道会

監督	出場辞退	
大将		
中堅		
先鋒		

《城東地区》(五区)

墨田区柔道会 江東区柔道会  
足立区柔道会 葛飾区柔道会  
江戸川区柔道会

監督	六段	広瀬 勝彦
大将	三段	桐林 亜美
中堅	二段	廣瀬 春菜
先鋒	二段	遠藤 美月

《城西地区》(四区)

新宿区柔道会 渋谷区柔道会  
中野区柔道会 杉並区柔道会

監督	六段	丸山 義治
大将	四段	広田 有紀
中堅	三段	木村 萌乃
先鋒	三段	榊枝 佳葵

《城南地区》(五区)

港区柔道会 品川区柔道会  
目黒区柔道会 大田区柔道会  
世田谷区柔道会

監督	五段	千竈 健人
大将	四段	太田紗智璃
中堅	四段	佐田 智梨
先鋒	三段	吉村 美祐

《城北地区》(五区)

豊島区柔道会 北区柔道会  
板橋区柔道会 荒川区柔道会  
練馬区柔道会

監督	七段	原 豊
大将	四段	松野 知佳
中堅	二段	伊勢崎詩乃
先鋒	二段	関田 彩華

《三多摩地区》

三多摩柔道会

監督	三段	河村 誓
大将	三段	河村 琴子
中堅	二段	奥本 華月
先鋒	三段	宮崎 七海

《 栄光の記録 》

東京都24地区対抗柔道大会

回数	年	優勝
第1回	昭和31	世田谷区
第2回	昭和32	目黒区
第3回	昭和33	文京区
第4回	昭和34	台東区
第5回	昭和35	豊島区
第6回	昭和36	三多摩
第7回	昭和37	豊島区
第8回	昭和38	豊島区
第9回	昭和39	豊島区
第10回	昭和40	台東区
第11回	昭和41	台東区
第12回	昭和42	大田区
第13回	昭和43	世田谷区

回数	年	優勝
第14回	昭和44	世田谷区
第15回	昭和45	豊島区
第16回	昭和46	世田谷区
第17回	昭和47	世田谷区
第18回	昭和48	杉並区
第19回	昭和49	三多摩
第20回	昭和50	中央区
第21回	昭和51	三多摩
第22回	昭和52	世田谷区
第23回	昭和53	目黒区
第24回	昭和54	練馬区
第25回	昭和55	世田谷区
第26回	昭和56	世田谷区

回数	年	優勝
第27回	昭和57	世田谷区
第28回	昭和58	杉並区
第29回	昭和59	世田谷区
第30回	昭和60	墨田区
第31回	昭和61	世田谷区
第32回	昭和62	世田谷区
第33回	昭和63	世田谷区
第34回	平成元	千代田区
第35回	平成2	目黒区
第36回	平成3	練馬区
第37回	平成4	葛飾区
第38回	平成5	練馬区
第39回	平成6	練馬区

回数	年月日	第1部		第2部	
		優勝	準優勝	優勝	準優勝
第40回	平成7年12月10日	世田谷区	三多摩	板橋区	江東区
第41回	平成8年12月8日	世田谷区	港区	目黒区	荒川区
第42回	平成9年12月14日	世田谷区	三多摩	千代田区	練馬区
第43回	平成10年12月6日	世田谷区	豊島区	北区	江戸川区
第44回	平成11年12月12日	世田谷区	三多摩	板橋区	江東区
第45回	平成12年12月10日	三多摩	豊島区	台東区	北区
第46回	平成13年12月9日	世田谷区	豊島区	目黒区	江東区
第47回	平成14年12月8日	世田谷区	豊島区	品川区	三多摩
第48回	平成15年12月7日	世田谷区	板橋区	港区	練馬区
第49回	平成16年12月5日	豊島区	世田谷区	三多摩	渋谷区
第50回	平成17年12月4日	千代田区	豊島区	大田区	台東区
第51回	平成18年12月3日	世田谷区	千代田区	荒川区	江東区
第52回	平成19年12月2日	豊島区	世田谷区	練馬区	北区
第53回	平成20年12月7日	豊島区	練馬区	板橋区	荒川区
第54回	平成21年12月6日	大田区	世田谷区	北区	江戸川区
第55回	平成22年12月5日	世田谷区	大田区	千代田区	葛飾区

回数	年月日	第1部		第2部	
		優勝	準優勝	優勝	準優勝
第56回	平成23年12月4日	世田谷区	練馬区	江戸川区	三多摩
第57回	平成24年12月9日	世田谷区	千代田区	北区	新宿区
第58回	平成25年12月8日	世田谷区	千代田区	豊島区	墨田区
第59回	平成26年12月21日	世田谷区	豊島区	練馬区	大田区
第60回	平成27年12月20日	世田谷区	大田区	千代田区	荒川区
第61回	平成28年12月18日	世田谷区	北区	文京区	板橋区
第62回	平成29年12月17日	世田谷区	豊島区	墨田区	中央区
第63回	平成30年12月16日	世田谷区	板橋区	足立区	三多摩
第64回	令和元年12月15日	世田谷区	大田区	千代田区	葛飾区
第65回	令和2年12月27日	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大防止により中止			
第66回	令和3年12月12日	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大防止により中止			
第67回	令和4年12月25日	大田区	板橋区	練馬区	北区
第68回	令和5年12月24日	世田谷区	北区	荒川区	文京区
第69回	令和6年12月15日	板橋区	大田区	葛飾区	豊島区
第70回	令和7年12月14日				

東京都6地区対抗女子柔道大会

回数	年月日	優勝	準優勝
第1回	平成29年12月17日	城南地区	城東地区
第2回	平成30年12月16日	城東地区	城南地区
第3回	令和元年12月15日	城東地区	三多摩地区
第4回	令和2年12月27日	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大防止により中止	
第5回	令和3年12月12日	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大防止により中止	
第6回	令和4年12月25日	中央区	城北地区
第7回	令和5年12月24日	城北地区	中央区
第8回	令和6年12月15日	城東地区	城北地区
第9回	令和7年12月14日		

